

令和3年度第1回沖縄県立青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング検証結果について)

1 委員会の開催について

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、委員を招集せず書類審査によりモニタリング実施結果に対する意見等聴取を行った。

2 書類審査（委員）

那覇市教育委員会教育委員 本仲 範男
公立大学法人名桜大学教授 平野 貴也
一般財団法人沖縄県中小企業診断士協会会長 神谷 繁
一般社団法人ガールスカウト沖縄県連盟連盟長 津波 紀伊子
一般社団法人沖縄県PTA連合会安全委員会専務 下地 イツ子

3 審議概要

沖縄県立青少年の家6施設（名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣）の令和2年度実績モニタリング結果検証

4 検証内容

- (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか。
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
- (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

5 検証結果

コロナ禍の大変運営が厳しい中、各施設の管理運営は、適切に実施されている。

6 委員から主な意見、質疑等

意見、質疑等	回答等
すべての施設において利用状況が「C」評価なのはコロナ禍で仕方ないと思われる。人を集めるのが難しく、宿泊や人が触れ合うプログラムを実施することが難しい状況下においても、どの施設も工夫して運営がなされていると思われる。	
実施内容（現地確認）欄で修繕や備品購入等は数社からの見積もりを取って比較検討した上で発注しているのか。	原則として数社から見積書を取っている。ただし、一定の金額に満たない場合や特別の事情により2社以上から見積書を取ることができない場合は、1社としている。
各施設において財務面での考え方に開きがあり、アフターコロナに向けて取り組むべき修繕等がなかったか、振り返る必要があると思われる。	新型コロナウイルス感染症の影響は、しばらく続くと思定されるため、施設の収支の状況を踏まえ、アフターコロナのための修繕や備品購入等について、連携して取り組みたい。

(玉城)

意見、質疑等	回答等
<p>維持管理業務の宿泊の評価において、令和元年度、令和2年度ともにクーラーの改善が要求されているが、改善されていないようである。</p>	<p>令和2年度に指摘されたクーラーについては、令和元年度に指摘されたものとは別のクーラーである。 どちらも故障後、速やかにレンタル品のクーラーを設置し、対応済みである。 老朽化が目立ち、設備の故障も相次いでいるが、今後も連携して早期対応に努める。</p>
<p>当施設は改築工事の着工も控えており、アフターコロナに向けて債務の繰上償還や啓蒙活動につながるホームページのリニューアル等を行うなど前向きに取り組んでいるのは評価できる。</p>	
<p>主催・自主事業共に、面白い切り口からのアイデアいっぱいな内容が目を引く。また、野外活動に関わる指導者育成に特化した事業も指定管理者の目指すものを表していると思った。 収支がほぼ予算通りの執行となったのは相当なご苦勞を感じる。</p>	

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立 玉城青少年の家	対象年度	令和2年度
------	--------------	------	-------

【目次】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	3
(1) 利用実績		
1) 利用者数等		
2) 施設稼働率		
3) 受付・接客		
4) 広報		
5) 情報管理		
6) 職員研修の実施		
3. 主催事業	4
4. 自主事業	6
II. サービスの質の評価	8
1. 受入事業		
2. 主催・自主事業		
3. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	13
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	15
1. 目標		
2. 評価結果		
【参考】		
附表 経営状況分析	16
料金徴収フロー図	17
労働条件等自主点検表	18

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立玉城青少年の家	対象年度	令和2年度
指定管理者	一般社団法人 沖縄じんぶん考房 指定期間:平成31年4月～令和6年3月	所管課	教育庁 生涯学習振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	○		利用の都度、利用団体による清掃。 職員による日常清掃。	業務日誌等 書類確認	適正	適切に実施されている。 今後とも職員による巡回を行い、 環境美化及び新型コロナウイルス 感染症対策に努めること。
〈定期清掃〉	○		担当職員が分担ごとに点検、清掃を実施。委託業者により、ごみ回収を週3回、貯水槽清掃を年1回実施。利用者退所後、宿泊室の消毒を実施(次亜塩素酸水噴霧及び手拭き)。	契約書、報告書等書類 確認	適正	適切に実施されている。 今後とも施設の利用状況等を勘 案の上、環境美化の実施に努め ること。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設職員による点検	○		1日と15日に施設全体を施設管理係を中心に定期安全点検を行っている(建物内の照明設備、空調機器、草刈り、芝生・植栽整備等)	書類等確認	適正	所内巡視等により適切に行われている。今後とも継続し、良好な研修環境の維持に努めること。
電気設備点検		○	専門業者と委託契約締結 2ヶ月毎:1回実施 (4/6、6/11、8/18、10/15、12/3、2/19) 年次点検:1回(10/15)	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。
消防設備保守点検		○	専門業者と委託契約締結 年2回実施 機器点検:9/3 総合点検:3/15	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。
簡易水道設備点検	○	○	職員により容量を確認し、消毒用塩素を補充(不定期)。 専門業者と委託契約締結。 年1回(2/10)	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。
浄化槽設備点検		○	専門業者と委託契約締結。 月2回実施 (4/10、4/22、5/14、5/27、6/10、6/24、7/9、7/20、8/12、8/26、9/9、9/23、10/7、10/21、11/5、11/18、12/2、12/18、1/13、1/27、2/3、2/17、3/3、3/17)	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。
ボイラー設備保守点検		○	専門業者と委託契約締結。 年2回実施(11/26、3/18)	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。
衛生保守管理業務 (害虫防除業務)		○	専門業者と委託契約締結。 ネズミ駆除作業 月1回実施 (4/30、5/18、6/23、7/13、8/14、9/15、10/27、11/17、12/15、1/12、2/9、3/16) ゴキブリ等の小型害虫駆除 年2回実施 (8/14、3/16)	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。
昇降機設備保守点検	-	-	-	-	-	-

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備	○	○	①警備業者と委託契約締結。 夜間は毎日17:15～8:30、土曜日・日曜日・年末年始・慰霊の日・旧盆・台風時は8:30～17:15警備員1名の常駐警備。 ②裏門及びキャンプ場に監視カメラ各1台設置し、常時監視している。	契約書、日誌等確認	適正	適切に実施されている。今後とも注意を怠らないこと。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施。	○	○	実績計 1,438,920円 消防用設備、次亜塩素酸用薬注システム取替修繕、プレイホール窓、A営火場外灯取付、1FL天井ボイラー配管、B炊飯棟照明及び倉庫換気扇取替、宿泊室換気扇取付	完了届、請求書等確認	適正	適切に実施されている。老朽化に伴い改築が控えている施設であるが、今後とも所管課と連携しながら計画的な修繕に努めること。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 394千円	○		実績計 390,600円 ワイヤレスマイク、ソフト平均台、プロジェクター	納品書、請求書等確認	適正	適切に予算運用されている。今後も利用者の活動を重視した備品購入を行い、利便性の向上に努めること。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
消防訓練	○		年2回実施 10/19届出 10/27実施 3/3届出 3/25実施	届出等確認	適正	適切に実施されている。今後とも法令に基づく訓練を確実に実施すること。
避難訓練	○		年2回実施 10/19届出 10/27実施 3/3届出 3/25実施	届出等確認	適正	適切に実施されている。今後とも法令に基づく訓練を確実に実施すること。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料徴収	○		令和2年度 徴収実績133,540円 料金徴収フロー図に基づき徴収	領収書等確認	適正	適切に実施されている。今後とも所内ルールに基づき、慎重に処理すること。金庫内現金の管理の厳正に努めること。
実費負担等徴収	○		令和2年度 徴収実績658,724円 料金徴収フロー図に基づき徴収	領収書等確認	適正	適切に実施されている。今後とも所内ルールに基づき、慎重に処理すること。金庫内現金の管理の厳正に努めること。

1. 維持管理業務取組改善案	(1)～(7)すべての項目で概ね適切な維持管理が行われている。令和3年度に改築工事が着工し、工事関係者や車両の出入りが多くなることから、これまで以上に所管課と連絡を密にし、維持管理業務及び安全対策に支障をきたさないよう取り組む必要がある。
----------------	---

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	令和元年度実績	事業計画 (目標値)	令和2年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
利用者実数	20,900	21,000	10,209	48.8%	48.6%	コロナ禍での県からの要請を踏まえた利用者受入停止及び事業の中止(4/7~5/20、8/1~9/5)や各団体の活動縮小により、利用者数が減少している。特に学校団体は、日帰りがほとんどで宿泊利用は、ほぼ無くなった。テント利用についても、3密の観点から敬遠されている。今後も利用希望には積極的に対応しながら、体験と感染予防の両立が課題である。
利用者延べ数	24,121	33,338	11,278	46.8%	33.8%	
(利用者内訳)						
学校教育	9,180	12,438	4,155	45.3%	33.4%	
社会教育	1,874	8,600	1,308	69.8%	15.2%	
その他	13,067	12,300	5,815	44.5%	47.3%	
利用者延べ数	26,130	35,700	14,966	57.3%	41.9%	
(施設内訳)						
宿泊室	5,374	8,300	858	16.0%	10.3%	
研修室	3,477	3,600	1,607	46.2%	44.6%	
体育館(プレイホール)	3,595	3,600	2,096	58.3%	58.2%	
キャンプ場	3,401	3,500	211	6.2%	6.0%	
その他	10,283	16,700	10,194	99.1%	61.0%	
(利用団体数)	930	950	1,118	120%	118%	

※「利用者延べ数(施設内訳)」については、複数の施設を利用した者を施設ごとに計上しているため、「利用者延べ数(利用者内訳)」よりも多くなっている。

評価(①利用状況)	C
-----------	---

【評価基準(①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

2) 施設稼働率

	令和元年度実績	事業計画 (目標値)	令和2年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
開所日数	335	350	317	94.6%	90.6%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県からの要請を踏まえた利用者受入れ停止等があり、開所日数が計画比90.6%となった。また、各団体の活動縮小等により利用率は、91.5%となった。
利用日数	327	350	290	88.7%	82.9%	
利用率	97.6%	100.0%	91.5%	93.7%	91.5%	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)	-
-----------	---

【評価基準(①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
全職員が対応可能な体制の構築	○		業務日誌、不定期の所内会議を実施し、情報共有を行っている。毎日の朝礼では、接遇用語の唱和を欠かさず、各自の業務予定や担当業務の進捗を発表している。	関係書類等確認	適正	必要に応じて、所内会議を実施し、情報共有を図る等、適切に実施されている。

4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HP、新聞、館内掲示や配布物による事業等のアピールを実施	○		主催・自主事業の開催案内や参加者募集について、HPのトピックス、NHKテレビ、ラジオ沖縄、新聞、新聞副読紙への投稿、作成ボスターの館内掲示、関係機関への広報依頼、生涯学習センター「おきなわ県民カレッジ学習メニューブック」への掲載、事業開催時の閉講式での案内を実施している。	関係書類等確認	適正	適切に実施されている。新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化に伴い、事業の内容が閲覧者に伝わるようHPを有効活用すること。

5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報等の適切な管理を実施する	○		1.個人情報管理取扱いは担当を限定している。 2.朝礼等で、都度、周知を図っている。 3.個人情報に係る廃棄書類のシュレッダーによる破碎の徹底を図っている。	関係書類等確認	適正	適切に実施されている。今後も、所内ルールの徹底や研修の実施等により全職員の意識の持続、向上に努めること。

6) 職員研修の実施

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
予算240,000円業務仕様書に基づく職員研修の実施	○		決算 196,060円 自然体験活動指導者(NEAL)2名(6/6、6/13)、若狭公民館企画づくり研修会4名、チームビルディング入門セミナー(10/13)、プロジェクトワイルド講習2名(10/31、11/1)、社会教育主事講習1名(1/21～2・18)、所内研修「環境学習の視点を学ぶ」、伐木・仮払い業務の安全講習会(3/11、3/14)	関係書類等確認	適正	施設の入入れプログラムの質向上を目指し、精力的に研修を実施している。また、社会教育の振興へ寄与するため社会教育主事資格についても、取得を進めている。これら人材が定着するかが課題である。

3. 主催事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
なんじょう自然観察隊～日本最小のセミを探そう～	○		4月29日	5歳以上の子どもとその家族	25	0	0%	本事業は、南城市の自然環境について家族で観察し、自然の神秘に触れ、生物多様性について考えることを趣旨とし開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた県立青少年の家の受入れ停止要請に伴い、事業の開催を中止した。
春のファミリーデイキャンプ～家族で楽しく野外体験～	○		5月2日	子供(5歳以上)を持つ家庭	30	0	0%	本事業は、野外活動をとおり親子の絆を深め、自然に対する興味・関心を高めることを趣旨とし開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた県立青少年の家の受入れ停止要請に伴い、事業の開催を中止した。
ストリートワークアウトinたまぐすく～土曜日は玉城で運動遊び～	○		6月6日	学童クラブ(各20名程度)	100	0	0%	本事業は、複数の学童クラブが集い、運動遊びをとおして交流を図り、体力づくりに寄与するとともに、引率の指導員が運動遊びを展開するためのスキルアップに役立てることを趣旨とし、ストリートワークアウト沖縄・沖縄県学童保育連絡協議会と共催で事業を開催する予定であったが、事業の内容上、参加者が密になることが避けられないため、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、調整の結果、事業の開催を中止した。

親の学び合いプログラム×子ども炊飯教室	○	7月18日	ひとり親世帯	80	0	0%	本事業は、午前中、子どもは野外炊飯活動とおした食育を行い、親は沖縄県の推奨する「親の学び合いプログラム」を受講、午後からは親子でフィールドワークを行い、親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を図ることを趣旨とし、那覇市母子寡婦会・ストリートワークアウト沖縄との共催で事業を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、調整の結果、事業の開催を中止した。
夜空の不思議にふれよう～星空観察会～	○	9月12日	小学生がいる家族	20	23	115%	本事業は、親子で星空観察やアクティビティを行い、星や惑星から宇宙へと関心を広げ、宇宙開発への興味・探求心を育てることを趣旨とし開催した。新型コロナウイルス感染症を考慮し、社会全体が活動を自粛する中での開催で、参加者からの満足度は非常に高かったが、より万全な感染症対策、子どもや家族間での交流を促す取組みなど、事業内容について検討する必要がある。
プログラムサポート実習～入門編・実践編～	○	9月19日	教員、教員志望者、学童職員、野外活動希望者	30	13	43%	本事業は、団体等が野外活動を行うにあたって効果的なプログラムの展開方法や意味について学び、野外活動のリーダーとして活動目的を主体的に取り組める人材の育成を行うことを趣旨とし開催した。教員の参加を促進するため週末(土曜日)の開催としたが、教員からは「平日のほうが業務として参加しやすい」との声が上がっており、参加対象者の実情を把握していなかった。参加者はもちろん、施設利用者からヒアリングを行い、求められるニーズを考察し、充実した施設利用が行なえるよう事業内容について検討する必要がある。
親子で楽しくデイキャンプ～外遊びのコツを学ぼう!～	○	11月21日	小学生を含む家族	20	21	105%	本事業は、市街地から離れた自然豊かな場所で、親子で野外活動や自然散策を行うことで絆を深め、子どもたちの自主性や達成感、自己肯定感を高めることを趣旨とし開催した。進行表に基づき活動が行なわれたが、家族人数や経験の差などで活動時間に幅が出てしまい、家族によっては待機する時間ができてしまった。間延びしてしまうと、参加者の活動意欲が下がる傾向にあるため、待機時間を有効に活用し、次の活動に期待感を持たせる工夫が必要である。
歴史散歩 ①王族ゆかりの地 ②はじまりの地	○	①1月17日 ②1月24日	①中学生以上 ②小学生以上	40	38	95%	本事業は、地域に伝わる歴史文化財を巡り、歴史に対する理解を深め魅力を発信し、歩くことで健康づくりの推進を図ることを趣旨とし、①王族ゆかりの地は沖縄県立博物館・美術館主任学芸員の山本正昭氏を講師に、②はじまりの地は南城市中央公民館員志堅美千代氏を講師に開催した。散策箇所が広範囲にわたるため、参加希望者の減少を懸念したが、近年の健康ブームも相まって応募多数となった。今後も需要を見込める事業であり、継続した開催を予定しているが、大勢での散策に驚いた地域住民が経過を観察したり、散策集落の行事と重なるなど、迷惑をかけたことは否めなく、事業の開催にあたっては散策集落と綿密な調整が必要である。
冬のファミリーデイキャンプ～広大な敷地で宝探しゲーム～	○	2月6日	5歳以上の子どもとその家族	20	21	105%	本事業は、タープテント設置や野外炊飯活動、宝探しゲームなどの野外活動をおとして、力を合わせて取り組むことの大切さ、家族の交流を図ることを趣旨とし開催された。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、野外炊飯活動を行う際には、手指消毒及び食器類の洗浄の徹底、カット済み野菜の活用など、参加者同士が調理中に密にならないよう配慮した。宝探しゲームについては、参加者が家族単位で活動を行っていたため、参加者同士が密になる場面は少なかった。1日を通した事業は、事業進行が安全かつスムーズに行えるよう、通常以上に職員間の情報共有を密にする必要がある。また、カット済み野菜等、あらかじめ分量が振り分けられている食材を使用する際は、その分量が適正なのかを確認する必要がある。
レクの技術で学級づくり～教育実習直前対策講座～	○	3月20日	教員、学童職員、教員を目指す方、一般	30	8	27%	本事業は、教育実習を控えている方、現職の教員を対象に学級経営に必要なレクリエーション技術やチーム作りなどの実践研修を行うことを趣旨とし、沖縄県レクリエーション協会與那覇直樹氏を講師に招き、共催で開催した。事業内容については参加者から好評であったが、事業名にある「教育実習直前対策講座」が教員を目指す学生を対象としたものと思われたのか、教員の参加が伸び悩んだ。また、3月は春休みや異動時期にあたるなど、教員にとっての繁忙期にあたることも参加が伸び悩んだ要因の一つであると考えられる。今後は事業名の変更及び開催時期の見直しを行い、参加者の増加を目指すこと。

遊び・学び・体験フェスティバルin玉城	○		3月20日	県民一般	300	0	0%	本事業は、社会教育団体等が集い、地域住民や県民一般に、それぞれが取り組んでいる活動を紹介し、得意とする分野での体験活動を提供することで各団体の活動を活性化させ、相互理解の促進及び連携し合えるきっかけ作りを目指すことを趣旨とし開催を予定していたが、事業の内容上、参加者が密になることが避けられないため、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、事業を中止した。
計(中止事業は除く。)					160	124	78%	実施6事業、中止5事業

4. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
レクリエーションサポーターになろう～みんなで楽しくパワーアップ～	○		6月17日	学童クラブ職員	30	45	150%	本事業は、子どもたちの日常に身近な場所で、イベントに頼らない体験活動が展開されるための企画力向上を目指し、子どもに関わる職業や活動に携わる方を対象にスキルアップのための実践研修を趣旨とし、沖縄県レクリエーション協会との那覇直樹氏を講師に招き、共催で開催した。 事業内容については好評であったが、参加者から「このような講習会への参加したいが、講習会の情報があまり入らない」との声があがった。 近年、チームビルディングや集団レクが目目され、このような事業は需要は見込めることから、広報を工夫することで参加者の増加を図ること。
暗闇でフィールドビンゴ～マジックナイト～ ①②	○		①7月25日 ②10月17日	家族、又は引率者がいる小学生グループ	40	43	108%	本事業は、沖縄の伝承や文化に触れ、自然と人間生活の関わりをサングラー作りやフィールドゲームの中で理解し、郷土愛を育むきっかけ作りを趣旨とし開催した。 参加者からは「沖縄の文化を知り、子どもの成長がみられた」「キジムナーやマジックのことで、他の人にも教えたいたい」などの声があがり、今後も継続開催を行いたいと考えている。 サングラー作り使用するスキの確保、フィールドゲーム内で登場するマジックの由来や説話、事業中の職員のサポート体制及び暗がりでの安全確認など、これまで以上に参加者が学び・楽しむことに満足できるよう事業内容を見直し、改良していく必要がある。
仲村渠の稲作を学ぶ ①②	○		7月11日	稲作体験に興味のある家族	20	0	0%	本事業は、沖縄稲作発祥の地とされる玉城字仲村渠区での稲作の体験及び稲作発祥の歴史、道具の説明といった文化活動を行うことを趣旨とし、仲村渠稲作会と連携し開催を予定していたが、事業の内容上、参加者が密になることが避けられないため、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、調整の結果、事業の開催を中止した。
夏休み自然満喫キャンプ	○		7月30日～7月31日	小学校4～6年生	25	0	0%	本事業は、小学生高学年を対象に、プロジェクトアドベンチャーの手法を取り入れたプログラムを行い、協調性、目的を達成する力、自然に対する興味を宿泊体験とおして養うことを趣旨とし、事業を開催する予定であったが、事業の内容上、参加者が密になることが避けられないため、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、事業を中止した。
親子で学ぼう「ハブきょうしつ～あいはいはぶあはぶ～」	○		9月12日	親子、一般	30	19	63%	本事業は、ハブをテーマに注意点や沖縄の生物多様性を学び、自然と人間との関わりについて考え、沖縄の豊かな生態系に目を向けるきっかけを作ることを趣旨とし、沖縄県公衆衛生協会から講師を招き、共催で開催した。 折り紙工作やクイズ、冷凍されたハブに直接触れることができたことで、参加者の満足度が高かった。 専門機関を招くことで、説得力と信憑性が深まった一方、各プログラムの進行についてメリハリが乏しく、当所職員が進行をサポートし、場を効果的に演出する必要がある。 また、説明時は指示棒を使用するなど、参加者への細かい配慮が必要であった。 次回開催時には、連携団体との事前調整を密にし、参加者が事業に集中できる環境づくりに努めること。
スターウォッチング入門～家族で、仲間と星空観察～	○		9月25日	小学生がいる家族	15	10	67%	本事業は、親子で星空観察やアクティビティを行い、星や惑星から宇宙へと関心を広げ、宇宙開発への興味・探求心を育てることを趣旨とし開催した。 家族を対象に沖縄で見られた日食についての学習、月の満ち欠けについての実験、星座盤を用いた星座観察などを行ったが、未就学児の参加も多く、理解度に差が出た様子だった。 今後は対象年齢の絞り込み、提供内容の再検討など、参加者の理解度及び満足度の向上を図ること。

南城市でシーカヤック体験&ビーチコーミング	○		10月11日	小学生とその保護者	20	23	115%	本事業は、自然を体験しながら生き物への関心を深め、環境保護への意識向上を図ることを趣旨とし開催した。 ビーチでの開催のため日陰が少なく、用意したタープテントでは参加者へ日陰を提供するに足りなかった。 また、好天に恵まれビーチには一般利用者も多数いたことから、予定していた参加者の駐車場及び受付場所を急遽変更した。 事業開催にあたっては、あらゆる状況を想定した準備、綿密な打合せなどが必要である。
石窯deカーボンニュートラルなピザ作り&学びの森	○		10月31日	小学生または中学生のいる家族	20	22	110%	本事業は、化石燃料ではなく薪(廃材)を再利用したピザ作りを親子で取り組む体験をとおして、地球環境を考え自然へ目を向けるきっかけを作ることを趣旨とし開催した。 参加者の年齢や経験の差などにより、生地作りから窯焼き、試食までの時間に差があり、全てを終えた参加者が時間を持って余す場面があった。 また、ピザ焼きについては、下ごしらえを終えたピザをその都度焼くのではなく、家族全員分の下ごしらえを終えてから一気にピザ焼きに入る参加者が多く、その結果、ピザ焼きのための待機時間の使い方が課題となった。 プログラムに関しては好評なため、活動全体の流れを再確認し、内容の調整及び待機時間の活用方法を検討し、参加者満足度を高めること。
チーム作り、学級づくり～PAで理解するチームビルディング～	○		11月14日	教員、学童職員、教員を目指す方、一般	30	8	27%	本事業は、教育現場では欠かせない学級づくり等の小集団活動において、集団が成長するにあたりチームワークとは何か、どうすればうまく機能するかという課題をプロジェクトアドベンチャーの手法を用いて、チームビルディングを効果的に学ぶことを趣旨とし開催した。 事業自体の進行及び構成は滞りなく、課題を達成するため参加者同士が意見を出し合い、何度も挑戦するなど、短い活動時間ではあったが、チームでベストをつくる関係性が生まれた。 活動ごとにプログラムを落とし込む時間(振り返り)を作る、活動として密になる場面が多いが、ベターな距離感での活動法の検討等、参加者が現場に持ち帰り実践できるよう、事業内容の精査が必要である。
気軽に野草を楽しもう～親子でゲーム&クッキング～	○		11月28日	5歳以上の子どもとその家族	20	16	80%	本事業は、フィールドゲームをとおして、普段見落としがちな野草を観察・採取・食することで、身近な自然に目を向け慈しむ心を育むきっかけを趣旨とし事業を開催した。 参加者からは「野草の見分け方の説明やビンゴで探すうちに興味を持ち始めていた」「今回の企画のように、自然の中にあるものは食べることができるということ、子どもに伝えることができ良かった」という声が上ががり、野草を採取し食する体験をしたことで、子どもたちにも大きな変容が見られたと感じた。 活動中、放送設備の不具合や強風により炊飯活動に支障が出るなど、事前の設備のチェック及び荒天時の対応策などの準備不足が課題となった。 事業開催にあたっては、事前のチェック及び綿密な調整が必要である。
計(中止事業は除く。)					205	186	91%	実施8事業、中止2事業
2. 運営業務 3. 自主事業 4. 主催事業 取組改善案	<p>2 コロナ禍や令和3年度からの本館新築工事期間中であっても、体験活動を止めないという社会教育関連団体の期待に応えるためにも、魅力ある活動プログラムの開発、沖縄県民カレッジ特別サテライト会場としてオンデマンド講座の実施、各社会教育団体との事業連携、地域資源を体験につながる事業の実施、インターネット(ホームページ・SNS等)を活用した情報発信による幅広い層の取り込みを積極的に行っていただきたい。</p> <p>3、4 新型コロナウイルス感染症対策のため延期が続き、参加者が計画(定員)を下回る事業がある。一方、宿泊利用についての問い合わせや、事業への応募が定員をはるかに超える申込みがあった事業もあることから、体験活動及びイベント参加へのニーズは衰えていないと考えられる。今後は、感染症対策を踏まえながら、既存事業の工夫・改善や新規事業の開発に取り組んでいただきたい。</p>							

II. サービスの質の評価

1. 受入事業

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者自己評価	現状分析・課題	
	令和元年度評価	令和2年度目標	令和2年度評価			
維持管理業務 研修で利用する施設・設備・用具について	<p>(満足度)98% (※1) とても良い 47%(101票) 良い 51%(110票) 悪い 2%(5票) とても悪い 0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・快適に利用できた。 ・清潔感があった。 ・自然を身近に感じられる。 ・ピザ窯が良かった。 ・天体望遠鏡が良かった。</p> <p>(悪い意見) ・コンクリートが一部剥げています。 ・イスやテーブルが古い。 ・クーラーがカビ臭い。 ・清掃用具が劣化している。</p>	(満足度)90% (※1)	<p>(満足度)99%(※1) ・とても良い65%(74票) ・良い34%(39票) ・悪い1%(1票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・遊具等が多々あって良かった ・広々として学童内ではなかなかできないことができた ・充実している ・管理が行き届いていた</p> <p>(悪い意見) ・キャンプでベグの破損があった ・清掃用具が古くなっている</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると99% ・事前打合せやオリエンテーションでの丁寧な説明、退所前の清掃点検等、衛生面については、全職員で注意を払っている。 ・衛生管理については、出勤後に全員で15分程度の清掃を各所で行い、美化意識を高めている。 ・クーラーは、フィルター清掃を定期的に行う実施、コンクリートは適宜、打撃剥離で事故を防いでいる。研修室のイスやテーブルは、適宜、ふき取り清掃を行っているが、経年劣化が激しいため、一部は塗料を塗布し、使用に耐えられないものは更新した。アスレチックについても、巡回時に点検している。施設管理や清掃全般を、職員全員で取り組み、安全利用の環境確保につながっている。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・今後も、定期的な巡回や点検を行い、危険個所の把握や修繕箇所早期発見に努め、計画的な維持管理業務に努めること。 ・老朽化による漏水やコンクリート剥離の危険個所の早期発見に努めること。</p>
維持管理業務 宿泊で利用する施設・設備・用具について	<p>(満足度)90% (※1) とても良い 34%(52票) 良い 56%(86票) 悪い 9%(15票) とても悪い 1%(1票)</p> <p>(良い意見) ・きれいに清掃されていた。 ・大人数泊まれて便利。 ・建物は古いが清潔感がある。</p> <p>(悪い意見) ・コンセントが使用できなかった。 ・老朽化が目立つ。 ・クーラーから温風が出ていた。 ・畳に虫の羽があった。 ・テントの破れがあった。 ・冷水機が壊れていた。 ・水道から茶色い水が出てきた。</p>	(満足度)90% (※1)	<p>(満足度)94%(※1) ・とても良い39%(13票) ・良い54%(18票) ・悪い6%(2票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・シーツの使い方をとても分かりやすく説明していただけたので快適に過ごせた ・老朽化が目立ってはいしたが、管理がきちんとされていた</p> <p>(悪い意見) ・クーラーがあまり効かず窓を開けても暑くて眠れない子が多くいた</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると94% ・受け入れ前に活動場所のチェックを行い、必要に応じて清掃を行っている。施設の老朽化により、設備の経年劣化や修繕箇所が増えてきている。異常な発見時には、早期対応を心がけ、施設管理係を中心に随時、復旧・修理を行っている。今年度は、故障した宿泊室のW5のエアコン1基を廃棄し、建替えを控えているため、中古エアコンのリース契約で更新した。 ・利用者の減少に伴い、水道水からサビ水が出る事案が増えているため、利用日前日に、15分程度、放水点検を実施し、利用者には迷惑をかける対応ができています。</p>	<p>・施設の老朽化が目立ち、予測できない不具合発生しているようであるが、利用者の満足度は高い。 ・今後も修繕、補修等を適切に対応し、50万円以上の修繕事案は、迅速に報告し利用者への影響を最小に抑える対応に徹したい。</p>
維持管理業務 浴室・トイレの施設・設備について	<p>(満足度)85% (※1) とても良い 29%(62票) 良い 56%(118票) 悪い 13%(27票) とても悪い 2%(4票)</p> <p>(良い意見) ・きれいに清掃されていた。 ・大人数で利用できるのが助かる。</p> <p>(悪い意見) ・洋式トイレを増やしてほしい。 ・水圧が弱い。 ・虫が入ってきた。 ・グレーチングの錆が気になった。 ・電球が切れていた。 ・トイレが使用できないほど汚れていた。</p>	(満足度)90% (※1)	<p>(満足度)95%(※1) ・とても良い53%(53票) ・良い42%(42票) ・悪い3%(3票) ・とても悪い1%(1票)</p> <p>(良い意見) ・きれいで使いやすかった ・特に汚れも目立たずお湯もすぐに出て満足だった ・きれいに掃除されていてよかった</p> <p>(悪い意見) ・全体的に良かったが、もう少し洋式が多いと助かります ・浴槽が使えない。お湯の出が悪い</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると95%。 ・設備の不備に関しては利用者のアンケートを必ず点検して、問題点があれば施設管理係を中心に全員で対応している。シャワーの水圧の問題については、毎年改善の声が上がることが大規模な修繕が必要とのことでやむなく現状を維持しているが、事前打合せで利用者に伝えている。 ・宿泊者の激減で配管の排水トラップの乾燥による悪臭発生やトイレ便器内の水の滞留による黄ばみ防止のため、巡回時の排水と定期的な水洗い清掃を実施していることから、評価に改善がみられる。</p>	<p>・施設の老朽化による設備不良はあるが、施設職員の日頃の点検により、管理は徹底されており、利用者の満足度は高い。 ・洋式トイレの少なさについては、度々、意見に上がるが、設備上の特徴であるため、利用者には丁寧に説明し理解を促し、既存の設備のなかで快適利用ができるために清掃を徹底していくこと。</p>
維持管理業務 食堂の施設・設備について	<p>(満足度)99% (※1) とても良い 47%(58票) 良い 52%(63票) 悪い 1%(1票) とても悪い 0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・スムーズに配膳ができて利用しやすい。 ・大勢で利用できて助かる。 ・氷、冷蔵庫が使えて便利。</p> <p>(悪い意見) ・清掃がやりにくい。 ・台拭きの数を増やしてほしい。</p>	(満足度)90% (※1)	<p>(満足度)100%(※1) ・とても良い48%(10票) ・良い52%(11票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・わかりやすく使いやすかった</p> <p>(悪い意見) ・食事の時間が1時間しかなく慌ただしかった ※「良い」と回答した利用者の自由意見</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・食堂の施設・設備については概ね良い評価を受けている。利用団体のルールを守った使用と、こまめな清掃活動のおかげである。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症防止の為、席数を減らし座席のレイアウトを変更した。また、換気を徹底しているが、砂埃や小さな虫の侵入が課題となっている。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・今後も利用者が快適に使用できるよう、掲示物等を利用して、わかりやすい使用環境を整えながら、美化活動に努めること。 ・3密対策で、収容人数を半分を抑えているため、学校団体との調整には注意が必要である。</p>

運営業務	食堂の提供するメニューについて	<p>〈満足度〉98% (※1) とても良い 46%(56票) 良い 52%(63票) 悪い 2%(3票) とても悪い 0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・バランスの取れた食事で良かった。 ・とてもおいしかった。 ・アレルギー対応が良かった。</p> <p>(悪い意見) ・分量を子どもと大人で分けてほしい。 ・食材が小さい。 ・子供向けのメニューが少ない。</p>	〈満足度〉90% (※1)	<p>〈満足度〉100%(※1) ・とても良い62%(13票) ・良い38%(8票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・とても美味しかった ・量も内容もちょうどよいと思います</p> <p>(悪い意見) ・アレルギー献立の詳細を出してもらえると親が判断しやすくて助かる ※「良い」と回答した利用者の自由意見</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・アレルギー対策については、利用者にアレルギー報告書を提出させ、事前調整で注意を促し、食堂管理者へ確実に伝達し対応している。 配膳方法については、バイキング方式も検討したが、新型コロナウイルス感染症予防や食中毒防止の観点から、食堂業者が配膳する方法で対応している。前年度より改善が見られるため、評価として反映されている。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・今後も利用者の意見を大切に、可能な範囲で要望に応えられるよう食堂管理者と連携すること。</p>
運営業務	施設が提供する活動プログラムについて	<p>〈満足度〉99% (※1) とても良い 63%(49票) 良い 36%(28票) 悪い 1%(1票) とても悪い 0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・野外炊飯がとても良かった。 ・活動中の配慮が有難かった。 ・説明がわかりやすい。 ・無理なくできるので助かる。 ・星空観察が楽しかった。</p> <p>(悪い意見) ・プレーカーが落ちて活動できなくなった。 ・ウォークラリーのマップが見にくい。 ・もう少しわかりやすいプログラムにしてほしい。</p>	〈満足度〉90% (※1)	<p>〈満足度〉100%(※1) ・とても良い77%(33票) ・良い33%(10票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・アドベンチャーウォーク、野外炊飯は最高でした ・急な変更にも対応してくださりよかった ・説明もわかりやすくてとてもよい ・宿泊させてもっと多くの活動をさせてみたい</p> <p>(悪い意見) ・特になし</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・活動プログラムについては、利用者の傾向や要望を踏まえ、職員でアイデアを出し合い改良を続け、利用者毎の研修目的に沿った効果的な活動の支援に柔軟に対応できるよう努めている。 ・プログラム実施にあたっては、事前打ち合わせや入所時に打ち合わせを行い、利用者主体でスムーズな進行ができるよう促している。 また、利用者が安心して活動できるよう安全対策についても注意喚起している。 昨年度の意見を踏まえ、改善を重ねていることや、丁寧かつ細かな打ち合わせを徹底していることが満足度の向上につながっている。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・常に安全対策を怠らず、利用者が安心して活動プログラムを利用できるように注意すること。</p>
運営業務	電話や窓口での対応、プログラムの指導について	<p>〈満足度〉98% (※1) とても良い 70%(103票) 良い 28%(41票) 悪い 2%(3票) とても悪い 0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・丁寧に対応してくれた。 ・対応が早い。 ・子どもたちへの声掛けが良かった。 ・事前の打ち合わせが細かくなっていた。 ・遊びの提案をしてもらった。</p> <p>(悪い意見) ・電話対応が悪かった。 ・事前の調整が伝わっていないかった。</p>	〈満足度〉90% (※1)	<p>〈満足度〉100%(※1) ・とても良い82%(78票) ・良い18%(17票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・親切丁寧でわかりやすい ・適切なアドバイスでした ・下見の際丁寧に対応していただき、安心して当日行事を行うことができました ・コロナウイルス感染予防の取り組みや相談にしっかりと応じてもらいとても心強かった</p> <p>(悪い意見) ・電話時、保留音がとても大きかった ※「良い」と回答した利用者の自由意見</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると100% ・朝礼で毎朝、接遇用語を唱和し意識の向上に努めている。 ・野外活動等については利用者に満足のいく活動ができるよう、職員同士の共通理解を図り支援を行っている。 今年度は新型コロナウイルス感染症対策についての取り組みの説明等を徹底し、安心して利用してもらえるよう努めてきた結果が、意見に反省されている。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・運営指針で定めている利用者の立場に立った接遇を徹底し、今後も利用者の研修目的達成へ向け、親切丁寧に対応していくこと。</p>
運営業務	施設の利用料金について	<p>〈満足度〉100% (※1) とても良い 63%(94票) 良い 37%(54票) 悪い 0%(0票) とても悪い 0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・とても安い。 ・他の施設より安くして利用しやすい。 ・今後も利用しやすい価格。</p> <p>(悪い意見) ・特になし</p>	〈満足度〉90% (※1)	<p>〈満足度〉100%(※1) ・とても良い74%(66票) ・良い26%(23票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・安いので良いと思います ・気軽に利用できる料金</p> <p>(悪い意見) ・特になし</p>	S	<p>・「とても良い」「良い」を合わせると100% ・利用団体からは良いと評価を得ている。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・今後も利用しやすくなるような料金設定とともに、サービスの低下とならないよう心がけること。</p>

運 営 業 務	食事料金につ いて	〈満足度〉96% (※1) とても良い 52%(52票) 良い 44%(44票) 悪い 3%(3票) とても悪い 1%(1票)	〈満足度〉90% (※1)	〈満足度〉100%(※1) ・とても良い56%(20票) ・良い44%(16票) ・悪い0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S ・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 利用者からは、良いとの評価を得ている。野外炊飯の食材については、注意しているなかでの事例であるが、細心を払ってもらえるよう依頼を行ってきた。突発的なキャンセルや追加については、柔軟に対応して頂き、好意的な結果を得ている。 コロナ禍における収入減少のなか、安定運営がどこまで継続できるが不安が大きい。	・利用者の満足度は高い。 ・利用者の意見を参考に、今後とも利用者が納得する料金設定に努め、食堂管理者のサービスが低下しないように留意すること。 ・コロナ禍での施設利用者激減による食堂管理者の収入減少による継続性の確保が課題。
		(良い意見) ・安くて助かる。 ・とても満足。 ・十分な食事の料金だった。 (悪い意見) ・料金が低い。 ・料金に対して量が少ない。		(良い意見) ・コストパフォーマンスが良い ・丁度良い (悪い意見) ・野外炊飯の材料で傷んでいたものがあつた		

※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)
ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】
総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

II. サービスの質の評価

2. 主催・自主事業

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和元年度評価	令和2年度目標	令和2年度評価			
運営業務（主催・自主事業） 事前の広報について	(満足度)97% (※1) とともに良い 42%(54票) 良い 55%(71票) 普通 0%(0票) 悪い 2%(3票) とても悪い 1%(1票)	(満足度)90%(※1)	(満足度)100%(※1) ・とても良い47%(75票) ・良い 53%(84票) ・悪い 0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S	・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・広報媒体としては、新聞、ラジオ、TV、WEBやインターネット、那覇、島尻教育事務所への投函、学童へチラシ配布などを実施しているが、どの媒体を経由しても、ほぼ全員がホームページで詳細を確認しているとの声があがっている。そのため、ホームページへ掲載方法の工夫と迅速な更新が必須となっている。 また、課題であったホームページ活用を見直すとともに、イベント告知の掲載開始日の厳守等を徹底した。 コロナ禍でも広報を発信し続けた結果、中止した事業も多いが、募集時には定員を大幅に上回る応募がある事業が増え、広報改善成果が出始めている。	・利用者の満足度は高い。 ・体験機会の少ない層への浸透を図るため、媒体や魅せ方の検証が引き続き課題となっている。
運営業務（主催・自主事業） 電話や窓口の対応について	(満足度)100% (※1) とともに良い 71%(96票) 良い 29%(39票) 普通 0%(0票) 悪い 0%(0票) とても悪い 0%(0票)	(満足度)90%(※1)	(満足度)100%(※1) ・とても良い73%(117票) ・良い 27%(44票) ・悪い 0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S	・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 接客の心構えがよくなっていると言える。前年度評価の「親切さ」に対し、今回は「丁寧さ」であるとの評価が加わっている。利用者の意見から、全体的に適切な対応がなされているといえる。社員教育として取り組んできた生涯学習コーディネーター資格取得により、業務理解が促進されてきた成果である。	・利用者の満足度は高い。 ・コロナ対策や開催中止、延期など、利用者に不便をかける対応が増えているが、引き続き、慎重かつ丁寧で誠意のある対応に努めること。
運営業務（主催・自主事業） 事業の内容について	(満足度)100% (※1) とともに良い 77%(107票) 良い 23%(32票) 普通 0%(0票) 悪い 0%(0票) とても悪い 0%(0票)	(満足度)90%(※1)	(満足度)100%(※1) ・とても良い80%(144票) ・良い 20%(35票) ・悪い 0%(0票) ・とても悪い0%(0票)	S	・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・各事業とも、全体的な面で参加者から高い評価を得られた。事業対象を、子どもや家族を軸において企画を実施してきた成果だが、新たな導入を模索している教育分野向けの事業が好評で59名の参加があった。 企画会議を丁寧に行い、事業目的等を全所員と共有を図ることで、進行での役割分担や活動細部の意図を理解できており、参加者へのアシストを柔軟に対応できる余裕がみられる。	・参加者の満足度は高いが、閉所や中止が相次ぐなかで、ステイホームでも取り組めるプログラムを、考える必要がある。 ・今後、withコロナ、アフターコロナに対応した事業の方法の検討が必要。その際、従来型の良さを失わない方法をつくりだせるかが課題である。 ・関係機関と連携しながら、玉城の豊かな自然を活かした日帰りプログラムの充実、生涯学習社会を支える施設としての成人向けの学習プログラムの強化に取り組んでいただきたい。

運営業務 (主催・自主事業)	講師の進め方について	〈満足度〉100% (※1) とても良い 74%(103票) 良い 26%(36票) 普通 0%(0票) 悪い 0%(0票) とても悪い 0%(0票)	〈満足度〉90%(※1)	〈満足度〉100%(※1) とても良い 80%(144票) 良い 20%(37票) 悪い 0%(0票) とても悪い 0%(0票)	S	・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・各事業とも参加者から高い評価を得ている。現在、社会教育団体の活性化をテーマに取り組んでいるため、講師を外部団体が担当する機会もある。その場合には、講師任せの進行や内容にせず、事前に目的や内容、進行手順をしっかり詰めていることから、趣旨のずれない事業展開ができています。 所員も生涯学習コーディネーターとして、調整力、コミュニケーション力等が向上してきており、参加者のアシスト等、目配りが実践できている。 ・外部講師に依頼する事業だけでなく、所員が県外派遣で学んだ成果を反映させる事業も徐々に増えつつある。特に学級づくりに参加するプロジェクトアドベンチャーやチームビルディングの要素を加えた教育分野向けの事業づくりを強化していきたい。さらに、社会教育団体とのつながりを深め、それぞれの特性を活かした連携事業を開発していく。	・利用者の満足度は高い。 ・今後も各事業の目的達成に適した講師の選定を心がけるとともに、所員が対応できるよう研鑽に努めること。
		(良い意見) ・動画も使いわかりやすかった。 ・明るく聞きやすい話し方でよかった。 ・参加者自身が主体的に見る意識化を強調され、なるほどと思った。 ・説明等が丁寧で安心して取り組めた。 (悪い意見) ・マイクでの講師の声が届かない時があった。		(良い意見) ・ユーモアある語り口で親子で楽しく開けた。 ・適切な印象だった。 ・興味がわく進行だった。 ・子供ペースで進めてくれたので良かった。 ・仕事の中でできそうなアイデアももらった。 ・わかりやすい×7 (悪い意見) ・時間配分を考えてほしい。 ・もう少しわかりやすく。 ※「良い」と回答した利用者の自由意見			
運営業務 (主催・自主事業)	参加費について	〈満足度〉99% (※1) とても良い 65%(89票) 良い 34%(47票) 普通 0%(0票) 悪い 1%(2票) とても悪い 0%(0票)	〈満足度〉90%(※1)	〈満足度〉99%(※1) とても良い 77%(137票) 良い 22% (39票) 悪い 1% (1票) とても悪い 0%(0票)	S	・「とても良い」「良い」を合わせると99%。 今年度は、各事業とも参加者から参加しやすい金額であると評価されている。 昨年度の悪い意見として指摘を受けた参加費の負担については、歴史散策等は、実施方法を精査してきた成果がでている。 教育研修施設として、妥当な金額がどうか、今後も研究していきたい。 ・参加者にとっては、参加費以上の満足感を得ることができたと思ってもらえるよう努めている。 課題としては、経費を切り詰めているため、急なキャンセルや欠席などにより、定員割れになるとマイナス収支となることである。 また、兄弟と一緒に参加する未就学児からは参加費を徴収していないことから、徴収単位の妥当性や損益分岐点を定員の8割で設定する等、工夫を検討していく。	
		(良い意見) ・良いと思う。 ・お手軽。 ・もう少し安くしてくれると助かる。 ・ありがたい価格。 ・おいしいチキンも含まれ、安いと思う。 (悪い意見) ・1人1000円は高く感じた。 ・もう少し安くしてくれると助かる。 ・資料代とあったが、もらっていない。 ・歴史探訪は500円くらいがよい、県立が黒字出しているのか。		(良い意見) ・家族で参加しやすい費用でよい。 ・とても安い。 ・とてもお得だと思う。 ・内容の割にリーズナブル。 ・ちょうどよい。 (悪い意見) 特になし。			
総合評価 (各評価項目の平均)		〈満足度〉99.2%(※1)	〈満足度〉90%(※1)	〈満足度〉99.8%	評価 (②満足度)	・各事業とも参加者から高い総合評価を得られている。例年に比べ、悪い意見がほぼなかった。これは、事業の目的や手法をしっかり議論できていることの反映であると考えている。 ・withコロナでの事業発信は、試行錯誤であったが、状況に合わせて、安全安心を心がけて実施している。変化の激しい社会に何か必要かを考察しながら、手段等の妥当性を考えることや、より深い学びができる事業展開を目指しているため、所員を関連した研修に積極的に派遣している。 所員一人ひとりが研鑽を積み、利用者サービスの維持向上を継続できるかが課題である。 ・今後とも、講師や関連団体等との相互連携を深めて、より良い体験プログラムの開発に努めていく。	・全体的に適切な対応が出来ていると考えられる。 ・今後も各種目標の達成に向けて、職員同士で研鑽を積み、気づいたことを教え合いながらサービスの維持・向上に努めること。
					S		

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

1. 受入事業 2. 主催・自主事業	・老朽化した施設であることから、今後も点検、清掃等を徹底し、環境整備に努めること。 ・令和3年度に新築工事が着工し、工事関係者や車両の出入りが多くなることから、利用者の安全に留意すること。
II. サービスの質の評価 取組改善案	・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心に利用していただけるよう努めること。

III. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

単位:千円

収入項目		令和元年度実績	事業計画	令和2年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
計		1,685	192	133	8%	69%	
利用料金 収入	宿泊室	1,336	104	53	4%	51%	
	キャンプ場	151	50	30	20%	60%	
	研修室及び訓練室	103	10	19	18%	190%	
	プレイホール(体育館)	95	28	31	33%	111%	
指定管理料		42,420	42,809	42,809	101%	100%	
計		1,511	370	468	31%	126%	
自主事業 収入	主催事業収入	176	70	64	36%	91%	
	自主事業収入	113	60	75	66%	125%	
	事業収入その他(耕代・シート代等)	1,222	240	329	27%	137%	
その他収入(自販機電気料等)		152	130	191	126%	147%	
合計(A)		45,768	43,501	43,601	95%	100%	
(現状分析・課題)							
令和2年度の収入実績は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う閉所や利用のキャンセルが重なり、前年度から2,167千円の減少となっている。次年度は、継続しているコロナ禍の影響に加え、新館建設工事中に伴い野外炊飯施設が閉鎖されるため、利用者の回復は、困難であることが推察される。諸課題を整理し、対策を講じること。							

(2) 支出

支出項目		令和元年度実績	事業計画	令和2年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費		24,243	25,200	21,800	90%	87%	
賃金		0	0	0	0%	0%	
報償費		57	50	28	49%	56%	
旅費		347	250	247	71%	99%	
計		7,900	7,204	6,927	88%	96%	
需用費	消耗品費	1,875	1,220	1,664	89%	136%	
	燃料費	414	350	261	63%	75%	
	印刷製本費	138	230	307	222%	133%	
	光熱水費	4,414	4,200	3,255	74%	78%	
	修繕料	1,056	1,200	1,439	136%	120%	
	その他(食糧費)	3	4	1	33%	25%	
計		1,141	1,115	1,064	93%	95%	
役務費	通信運搬費	435	420	384	88%	91%	
	手数料	365	370	391	107%	106%	
	損害賠償保険料	105	120	107	102%	89%	
	火災保険料	16	30	27	169%	90%	
	自動車保険料	215	175	155	72%	89%	
	その他(広告費)	5	0	0	0%	-	
委託料		6,752	5,840	7,111	105%	122%	
使用料及び賃借料		1,898	1,200	2,779	146%	232%	
備品購入費		410	40	390	95%	975%	
負担金		17	32	10	59%	31%	
間接経費		1,223	1,870	2,043	167%	109%	
公課費		552	700	490	89%	70%	
合計(B)		44,540	43,501	42,889	96%	99%	
(現状分析・課題)							
コロナ禍と新築工事の着工を控えるなか、できる限りの費用削減と施設能力を維持するための修繕を実施している。利用料収入の回復に見通しが立たず、より厳しい対応が迫られることが予測されることから、軽トラや事務パソコンリース料の繰り上げ返済を実施し、ホームページ維持管理業者の変更等、次年度の支出を抑制する対策を講じてきた。また、研修室のインターネット環境を整備し、生涯学習センターのオンライン学習や各種研修利用の拡大に資する準備を整えた。経費の選択と集中がこれまで以上に問われた年度となったが、職員の研修費は確保し、資質向上を土台とした施設能力の拡大に努めている。コロナ禍を克服するまでに、体験のニーズがどう変化するのか注視ながら備えることが課題となっている。							

2. 経営分析指標

評価指標	令和元年度実績	事業計画	令和2年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B)) (単位:千円)	1,228	0	712	58%	-	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	3%	0%	2%	61%	-	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	4%	0%	0%	8%	69%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	54%	58%	51%	93%	88%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	15%	13%	17%	109%	124%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数) (単位:円)	1,847	1,305	3,803	206%	291%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数) (単位:円)	1,759	1,284	3,796	216%	296%	
(現状分析・課題)						
コロナ禍の利用者減少に伴い、利用者あたり管理コストが増大しているが、収益率は計画を上回っている。コロナ禍により宿泊室の利用が見込めないことや新館工事着工による野外炊飯施設の閉鎖のため、令和3年度の改善は困難であることが推察されるが、感染対策を踏まえた日帰りプログラムの充実や事業費の効率的な執行が求められる。						

評価(③財務状況)	A	【評価基準(③財務状況)】 収益率(事業収支/収入合計) A: 0%以上 B: -5%以上、0%未満 C: -5%未満
-----------	---	---

III. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設は、大人の研修利用が少ないため、日帰り研修機能の強化による生涯学習センターとしての利用率向上を目指し、企業や成人の学びの場としての認知度を高める広報強化を図る。 ・新築工事着工により実施できなくなる野外炊飯活動は、学校団体の施設離れに直結する深刻な課題であるが、現在までに、これに変わる防災炊き出しプログラムを専門団体と協働開発し、導入準備を進めている。さらに、ボーイスカウト沖縄県連が開発した施設周辺の歴史遺構等の散策学習に寄与できるロゲイニングプログラムを、施設の提供プログラムとして活用させてもらう方向で調整を進めている。 ・コロナ禍や工事により活動が制限されるが、社会教育諸団体と連携することでコンテンツを充実させ、充実した研修機能の維持に努め管理コストの改善を図る。 ・コロナ禍において利用料金収入及び事業収入並びに管理コストの改善は容易ではないが、感染症対策を徹底した上で取り組める事業の充実やコロナ後の利用者増加へつながる取り組みの検討が必要である。
------------------------------------	---

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
成果指標	①利用状況	利用者数	33,338人	33,882人	34,435人	34,997人
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%
財務指標	③財務状況	収益率	0%以上	0%以上	0%以上	0%以上

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和元年度実績	事業計画(目標値)	令和2年度実績		計画比	現状分析・課題	評価	取組改善案	令和3年度目標値	
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	33,338人	11,278人	47%	34%	コロナ禍での県からの要請を踏まえた利用者受入停止及び事業の中止(4/7～5/20、8/1～9/5)や各団体の活動縮小により、利用者数が減少している。 特に学校団体は、日帰りがほとんどで宿泊利用は、ほぼ無くなった。テント利用についても、3密の観点から敬遠されている。 今後も利用希望には積極的に対応しながら、体験と感染予防の両立が課題である。	C	新型コロナウイルス感染症対策による施設閉所、各団体の活動縮小により、施設利用者が前年比の4割程度と大幅に減少した。 コロナ禍や令和3年度からの本館新築工事期間中であっても、体験活動を止めないという社会教育関連団体の期待に応えるためにも、魅力ある活動プログラムの開発、沖縄県民カレッジ特別サテライト会場としてオンデマンド講座の実施、各社会教育団体との事業連携、地域資源を体験につながる事業の実施、インターネット(ホームページ・SNS等)を活用した情報発信による幅広い層の取り込みを積極的に行うこと。	33,882人	
	②満足度	満足度	99.2%	90.0%	99.8%	101%	112%	全体的に適切な対応が出来ていると考えられる。 今後も各種目標の達成に向けて、職員同士で研鑽を積み、気づいたことを教え合いながらサービスの維持・向上に努めること。	S	老朽化した施設であることから、今後も点検、清掃等を徹底し、環境整備に努めること。 令和3年度に新築工事が着工し、工事関係者や車両の出入りが多くなることから、利用者の安全に留意すること。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心に利用していただけるよう努めること。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	3%	0%	2%	61%	コロナ禍の利用者減少に伴い、利用者あたり管理コストが増大しているが、収益率は計画を上回っている。 コロナ禍により宿泊室の利用が見込めないことや新館工事着工による野外炊飯施設の閉鎖のため、令和3年度の改善が困難であることが推察されるが、感染対策を踏まえた日帰りプログラムの充実や事業費の効率的な執行が求められる。	A	当施設は、大人の研修利用が少ないため、日帰り研修機能の強化による生涯学習センターとしての利用率向上を目指し、企業や成人の学びの場としての認知度を高める広報強化を図る。 新築工事着工により実施できなくなる野外炊飯活動は、学校団体の施設離れに直結する深刻な課題であるが、現在までに、これに変わる防災炊き出しプログラムを専門団体と協働開発し、導入準備を進めている。さらに、ボーイスカウト沖縄県連が開発した施設周辺の歴史遺構等の散策学習に寄与できるロギングプログラムを、施設の提供プログラムとして活用させてもらう方向で調整を進めている。 コロナ禍や工事により活動が制限されるが、社会教育諸団体と連携することでコンテンツを充実させ、充実した研修機能の維持に努め管理コストの改善を図る。 コロナ禍において利用料金収入及び事業収入並びに管理コストの改善は容易ではないが、感染症対策を徹底した上で取り組める事業の充実やコロナ後の利用者増加へつながる取り組みの検討が必要である。	0%以上	
活動指標	④重点取組事項	接遇の向上	98%	90%	100%	102%	113%	朝礼での接遇用語の唱和による意識の向上、利用者に対する親身な対応ができるよう、生涯学習コーディネーターの資格取得を職員に義務付けている。 また、朝礼前の施設清掃、日直制度による施設巡回等による施設環境の把握、職員ミーティング等での利用状況及び収支状況の報告により、職員一人一人が施設の現状や課題を理解し、管理者である自覚を持ち、経営感覚を養う訓練を行っている。	S	接遇及び施設の現状把握は、利用者の安心安全に直接結びつくため、今後も継続して意識の向上に努めていく。 また、職員の資質向上を目的として、社会教育主事講習、プロジェクトアドベンチャー指導者養成講習、プロジェクトワイルドエデュケーター講習、防災介助士資格、サービス介助士資格等の資格取得を促し、施設利用者へその知識や技術を還元していきたい。	95%

総合評価 A

【評価基準】

- ①利用状況 目標値に対する達成率
S: 110%以上
A: 100%以上、110%未満
B: 80%以上、100%未満
C: 80%未満
- ②満足度
総合評価における満足度(各評価項目の平均値)
S: 90%以上
A: 80%以上、90%未満
B: 70%以上、80%未満
C: 70%未満
- ③財務状況 収益率(事業収支/収入合計)
A: 0%以上
B: -5%以上、0%未満
C: -5%未満
- ④重点取組事項 目標に対する評価
S: 目標を大きく上回る
A: 目標を概ね達成
B: 目標を下回る
C: 目標を大きく下回る

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

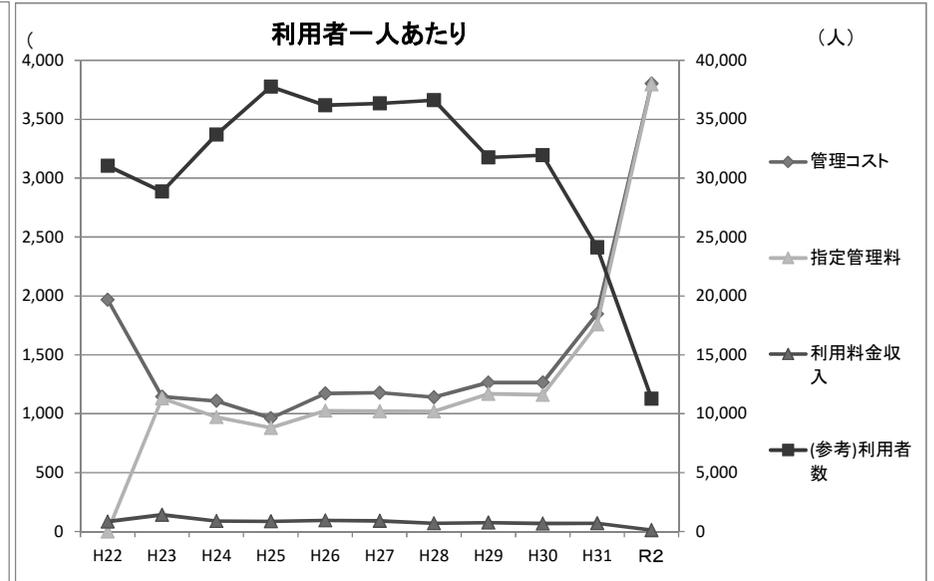
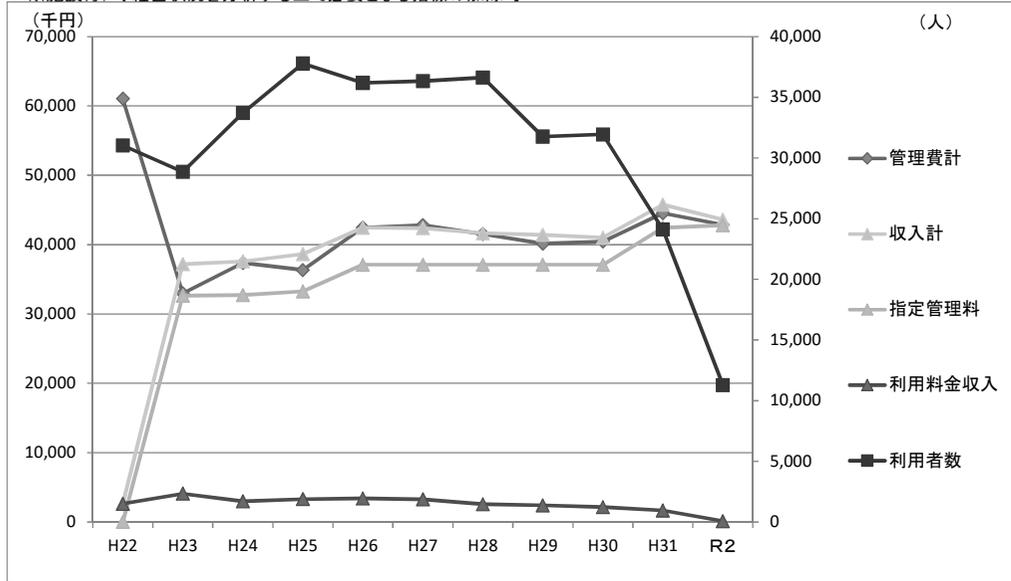
【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称: 沖縄県立玉城青少年の家

指標		単位	直営									指定管理										
			H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	
成果指標	利用者数	目標																32,276	32,803	33,338	33,882	
		実績	人									31,032	28,851	33,699	37,774	36,193	36,344	36,625	31,758	31,950	24,121	11,278
		目標比 H22比	%										93%	109%	122%	117%	117%	118%	102%	103%	74%	34%
財務指標	指定管理料	千円									0	32,617	32,726	33,272	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	42,420	42,809	
	県負担割合(指定管理料/管理費)	%										98.9%	87.6%	91.6%	87.4%	86.7%	89.3%	92.5%	91.8%	95.2%	99.8%	
	利用料金収入	千円									2,634	4,088	2,990	3,294	3,395	3,256	2,561	2,399	2,136	1,685	133	
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%										11.0%	8.0%	8.5%	8.0%	7.7%	6.1%	5.8%	5.2%	3.7%	0	
	事業収入	千円										73	89	74	142	1932	1900	1751	1553	1511	468	
	その他収入	千円										405	1784	1996	1814	83	75	135	224	152	191	
	収入計	千円									2,634	37,183	37,589	38,636	42,462	42,382	41,647	41,396	41,024	45,768	43,601	
	管理費計	千円									61,058	32,979	37,364	36,340	42,462	42,801	41,538	40,138	40,431	44,540	42,889	
	収支	千円										4,204	225	2,296	0	-419	109	1,258	593	1,228	712	
	収益率(収支/収入計)	%										11.3%	0.6%	5.9%	0.0%	-1.0%	0.3%	3.0%	1.4%	2.7%	1.6%	
/単位	一人あたり管理コスト	円								1,968	1,143	1,109	962	1,173	1,178	1,140	1,264	1,265	1,847	3,803		
	一人あたり指定管理料	円								0	1,131	971	881	1,025	1,021	1,019	1,169	1,162	1,759	3,796		
	一人あたり利用料金収入	円								85	142	89	87	94	90	70	76	67	70	12		

※施設毎に、経営状況を分析する上で必要となる指標の加除可



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

H31年度	利用料金、宿泊者数の減については、新型コロナウイルス感染の影響等によるもの
H30年度	利用料金の減については、宿泊者数の減少によるもの
H29年度	利用者数の減については、学校教育関係利用者(主に小学校)の減少によるもの
H28年度	利用料金の減については、宿泊者数の減少によるもの

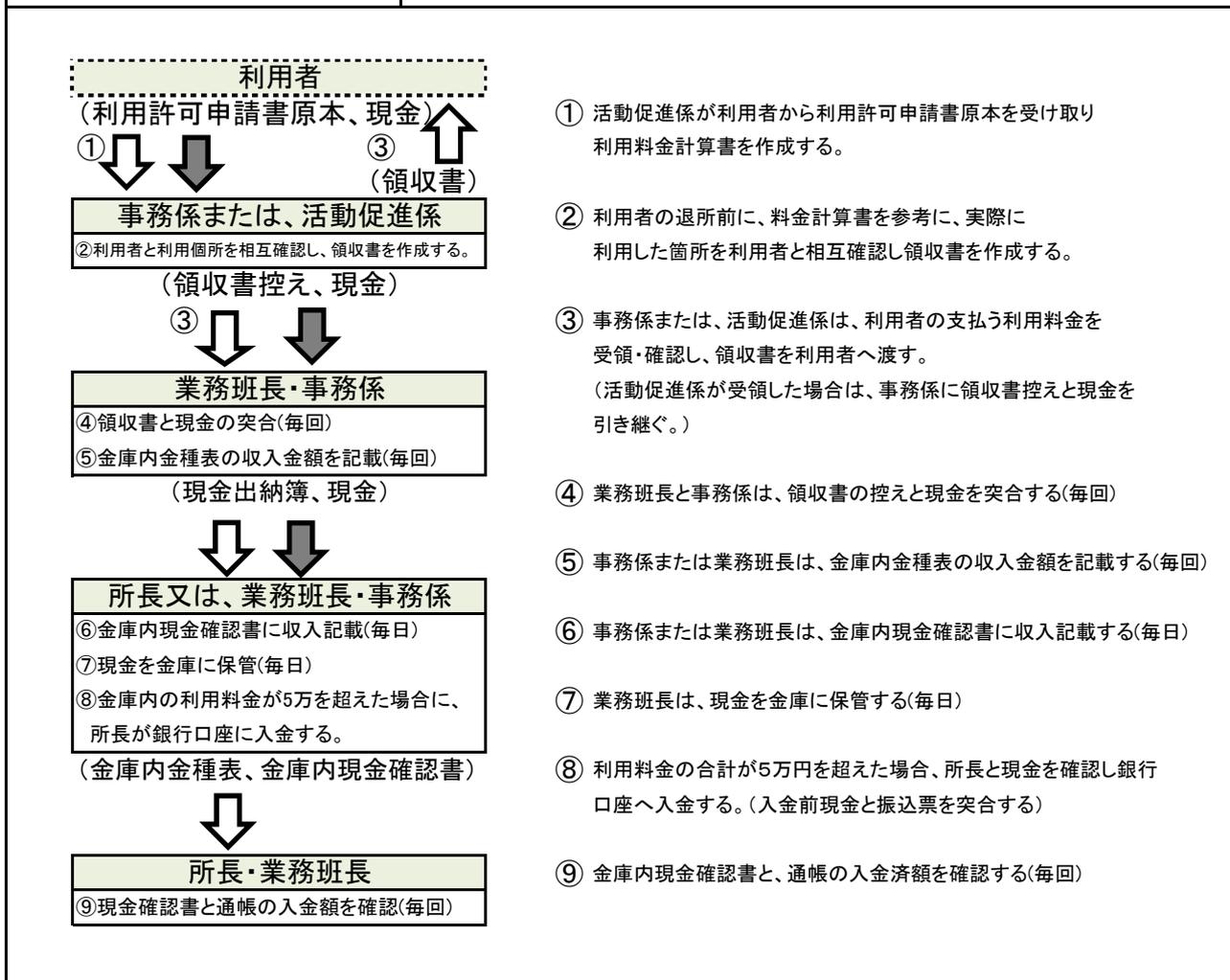
目標設定の考え方

※目標設定の根拠や考え方を記載

H30年度	R4年までに、過去7年間の指定管理期間の玉城青少年の家平均利用者数を目標とする。
H31年度	同上
H32年度	同上
H33年度	同上

料金徴収フロー図(例示)			
利用料金の名称	沖縄県立玉城青少年の家 施設利用料金	施設の名 称	沖縄県立玉城青少年の家

フロー図	利用料金の種類と金額														
<p> …… 職員等 …… 職員以外 ⇒ …… 書類等の流れ ⇒ …… 現金の流れ </p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 40%;">利用料金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">宿泊室</td> <td>児童及び生徒 1人1泊につき320円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生 1人1泊につき630円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">キャンプ場</td> <td>児童及び生徒 1人1泊につき150円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生 1人1泊につき260円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研修室及び訓練室</td> <td>児童及び生徒 1室1時間につき150円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生 1室1時間につき370円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プレイホール</td> <td>児童及び生徒 1時間につき370円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生 1時間につき730円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(備考)</p> <p>1 「時間に及び生徒」とは、就学前の幼児及び小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいい、「一般及び学生」とは、「児童及び生徒」に該当しない者をいう。</p> <p>2 研修室及び訓練室並びにプレイホールに係る基準額は、これらの施設を利用する団体(利用者が個人である場合に当たっては、当該個人)を単位とする。</p> <p>※利用料金の減免については、「沖縄県立青少年の家の設置及び管理に関する条例」に定めるところによる。</p>	区分	利用料金額	宿泊室	児童及び生徒 1人1泊につき320円	一般及び学生 1人1泊につき630円	キャンプ場	児童及び生徒 1人1泊につき150円	一般及び学生 1人1泊につき260円	研修室及び訓練室	児童及び生徒 1室1時間につき150円	一般及び学生 1室1時間につき370円	プレイホール	児童及び生徒 1時間につき370円	一般及び学生 1時間につき730円
区分	利用料金額														
宿泊室	児童及び生徒 1人1泊につき320円														
	一般及び学生 1人1泊につき630円														
キャンプ場	児童及び生徒 1人1泊につき150円														
	一般及び学生 1人1泊につき260円														
研修室及び訓練室	児童及び生徒 1室1時間につき150円														
	一般及び学生 1室1時間につき370円														
プレイホール	児童及び生徒 1時間につき370円														
	一般及び学生 1時間につき730円														



労働条件等自主点検表

施設名称	沖縄県立玉城青少年の家	対象年度	令和2年度
指定管理者名	一般社団法人 沖縄じんぶん考房		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果																									
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職(解雇の事由を含む。)については、書面を交付しなければなりません[労働基準法(以下「法」といいます。)第15条]</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																					
	1	2	3	4	5																					
(3～5については、改善が必要です)																										
<p>2 就業規則 就業規則(労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職(解雇の事由を含む。)等、労働条件の具体的細目を定めた規則)を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者(パートタイム労働者を含む。)を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません(法第89条) また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません(法第106条)</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																								
	1	作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない																					
	1	2	3	4	5																					
(3～5については、改善が必要です)																										
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません(法第35条)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">週休2日制</th> <th colspan="2">週休1日制</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <th>完全(毎週)</th> <th>月3回</th> <th>隔週</th> <th>月1～2回</th> <th>週1日</th> <th>4週4日</th> <th>4週3日以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>						週休2日制			週休1日制		その他	完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	1	2	3	4	5	6	7
週休2日制			週休1日制		その他																					
完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																				
1	2	3	4	5	6	7																				
	1	2	3	4	5	6	7																			
(7については、改善が必要です)																										

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。

なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
1	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

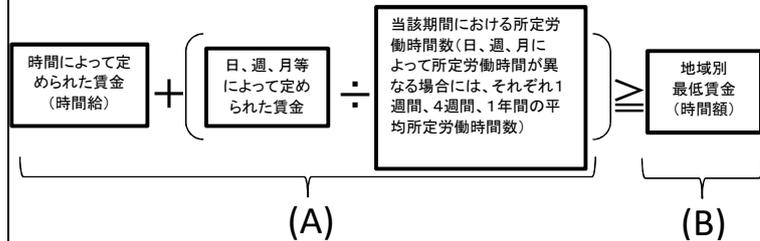
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
1	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	8	7	1

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	社会保険労務士と顧問契約を締結し、法令順守に努めている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	経営者にあたる指定管理団体の理事のため、加入ができない。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	8	7	1	7	1

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	社会保険労務士と顧問契約を締結し、法令順守に努めている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	勤務時間が週28時間のパートタイマーのため加入要件を満たしていない。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。